



たらみ図書館だより 2026.3月号

海からの贈りもの

〒859-0406

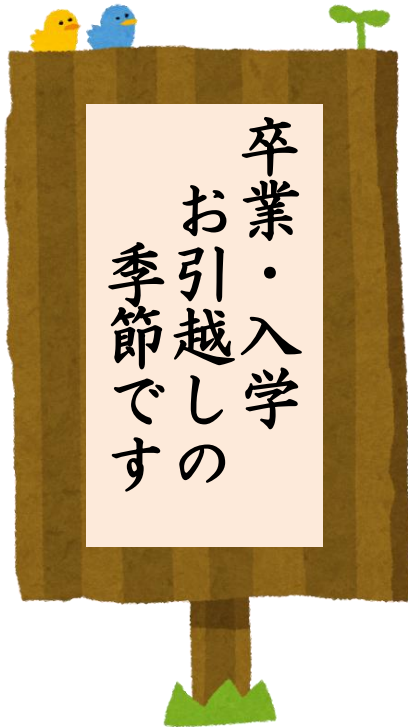
諫早市多良見町木床 2002

TEL/0957-43-4611

FAX/0957-43-4623

ホームページ/

<https://www.lib.isahaya.nagasaki.jp/>



■お忘れの本はありませんか？

異動の多い時期です。借りたままの資料がありましたら、市内お近くの図書館にご返却ください。ブックポストもあります。(CDやDVDはカウンターまでお持ちください)

■住所変更をお願いします

住所が変わられたときは、利用者カードと新しい住所がわかる確認書類をお持ちになり、図書館にある「変更届」を出してください。



原作本コーナーのご紹介



たらみ図書館では、テレビドラマや映画の原作となった本と関連する本を展示する「原作本コーナー」を作っています。ぜひこちらをご覧ください。



次回3月21日(土) おたのしみに♪

カレンダー

【開館時間】

火~木・土・日/10:00~18:00

金/12:00~20:00

3月

【休館日】

月曜日・第3木曜日・平日の祝日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

たらみ図書館 イベント情報

たらみふれあいミニコンサート

3月21日(土)11時40分~12時10分
海のホール
赤ちゃんから楽しめるコンサートです♪

たらみ図書館上映会

『お終活』(2021・日本)
3月13日(金)14時~16時
海のホール 先着:200名

Smile hope cafe

希望が丘高等特別支援学校の生徒さんによるカフェです。テイクアウト OK
3月4日(水)・11日(水)
18日(水) 10時30分~14時



図書館員おすすめの本

『豊臣家の女たち』

作者名 福田 千鶴 / 著
出版社 岩波書店



歴史の表舞台に立つ男性の裏で、確かな形で関わってきた豊臣家の女性たちがいました。揺れ動く時代の中でしっかりと役割を果たしてきたこの女性たちの働きがなければ、歴史は私たちが知るものとは大きく異なっていたのではないのでしょうか。

本書は、女性たちの目から見た豊臣家の栄枯盛衰の歴史が書かれています。たくさんのエピソードが一話完結で短くまとめられおり、どこから読み始めてもわかるような作りになっているので、難しい内容でもとても読みやすいのが特徴です。是非今年の一冊にいかがでしょうか。

新しく入った本

吉田修一と『国宝』の世界 酒井 信 / 著 朝日新聞出版

数々のヒットを生み出し、日本の文芸界で確かな存在感を放つ作家・吉田修一。社会現象となった「国宝」を徹底考察し、長崎という風土と人間への真摯な眼差しから生み出された傑作群の秘密に迫る。

秀吉と豊臣一族研究の最前線 河内 将芳 / 編 山川出版社

弟・秀長、甥・秀次、実子・秀頼、母、妹、妻、養子。政権運営のカギは、血縁や一族の存在にあった!? 出自をめぐる論点、刀狩り・惣無事令など政策の最新研究動向も含め、多様な視点から、秀吉政権の実像を解明する。

食べきり煮もの 少ない材料ですぐできる 重信 初江 / 著 朝日新聞出版

豚バラ肉の角煮風、簡単ビーフストロガノフ、さばと大根のキムチ煮、菜の花とわかめのさっと煮…。「食べきる」ことをテーマに、毎日の生活に寄り添う、最小限の具材で作る普段使いにうれしい煮もののレシピを紹介する。

整備士の採用と転職 大家 崇 / 著 幻冬舎メディアコンサルティング

自動車整備士専門のキャリアコンサルタントである著者が、採用と転職におけるごく基本的な原則や普遍的な知識を紹介する。採用を考える企業にも、転職やキャリア形成を考える整備士にも役立つ内容が満載。

ぼくたちはどう老いるか 高橋 源一郎 / 著 朝日新聞出版

哲学者・鶴見俊輔が「老い」に向き合った「もうろく帖」、「老い」の名作である有吉佐和子の「恍惚の人」…。72歳になった高橋源一郎が、「老いのことば」の森の中で「老い」を考察する。「小説トリッパー」連載を加筆修正。

※本の紹介は TRC「週刊新刊全点案内」より抜粋